

令和3年（1月～12月）庄原市観光客数の概況について

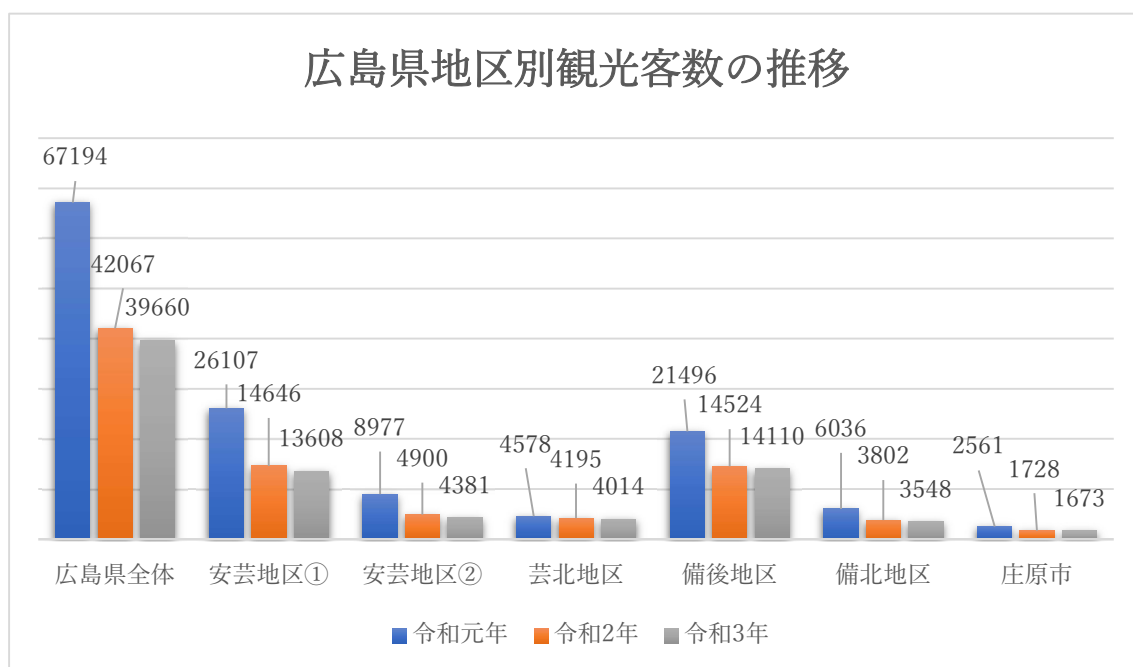
令和4年8月発行
一般社団法人 庄原観光推進機構

◆観光客数の概況

1. 総観光客数

令和3年の総観光客数は1,672,539人で、令和2年と比べて55,745人（▲3.2%）減少した。県の感染拡大防止早期集中対策や8月下旬からの緊急事態宣言等で観光客数は厳しい状況となったが、10月以降は、紅葉シーズンにおける登山客の増加や、備北丘陵公園のイルミネーションによる入園者数が増加したことなどにより、前年から微減となった。なお、感染症拡大前の令和元（平成31）年と比較すると、88,301人（▲34.7%）の減少となった。

(千人)



(千人)

	令和3年	令和2年	令和元年	対前年比	対元年比
広島県全体	39,660	42,067	67,194	94.3%	59.0%
安芸地区①	13,608	14,646	26,107	92.9%	52.1%
安芸地区②	4,381	4,900	8,977	89.4%	48.8%
芸北地区	4,014	4,195	4,578	95.7%	87.6%
備後地区	14,110	14,524	21,496	97.1%	65.6%
備北地区	3,548	3,802	6,036	93.3%	58.8%
庄原市	1,673	1,729	2,561	96.8%	65.3%

※安芸地区①（広島市、大竹市、廿日市市、府中町）

※安芸地区②（呉市、竹原市、東広島市、江田島市、海田町、熊野町、坂町、大崎神島町）

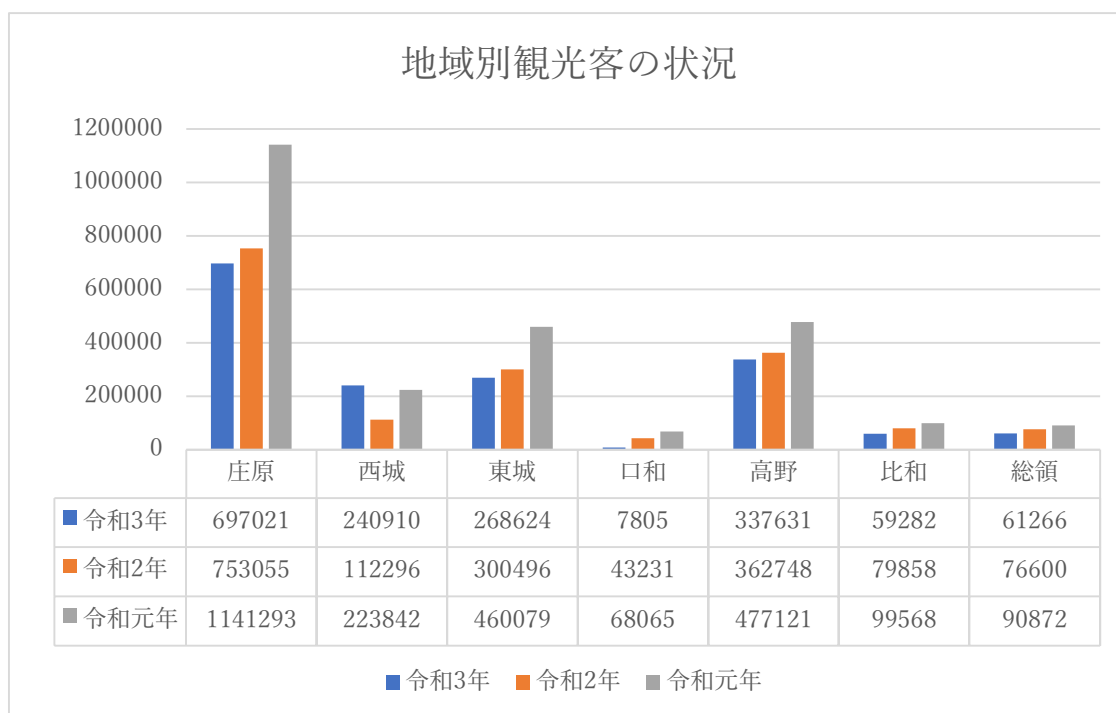
※芸北地区（安芸高田市、安芸太田町、北広島町）

※備後地区（三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町）

※備北地区（三次市、庄原市）

2. 庄原市内地域別観光客数の状況

地域別では、前年と比べて、庄原地域が-56,034人（▲7.4%）、西城地域が128,614人（+114.5%）、東城地域が-31,872人（▲10.6%）、口和地域が-35,426人（▲93.1%）、高野地域が-25,117人（▲6.9%）、比和地域が-20,576人（▲25.8%）、総領地域が-15,334人（▲20.0%）減少した。



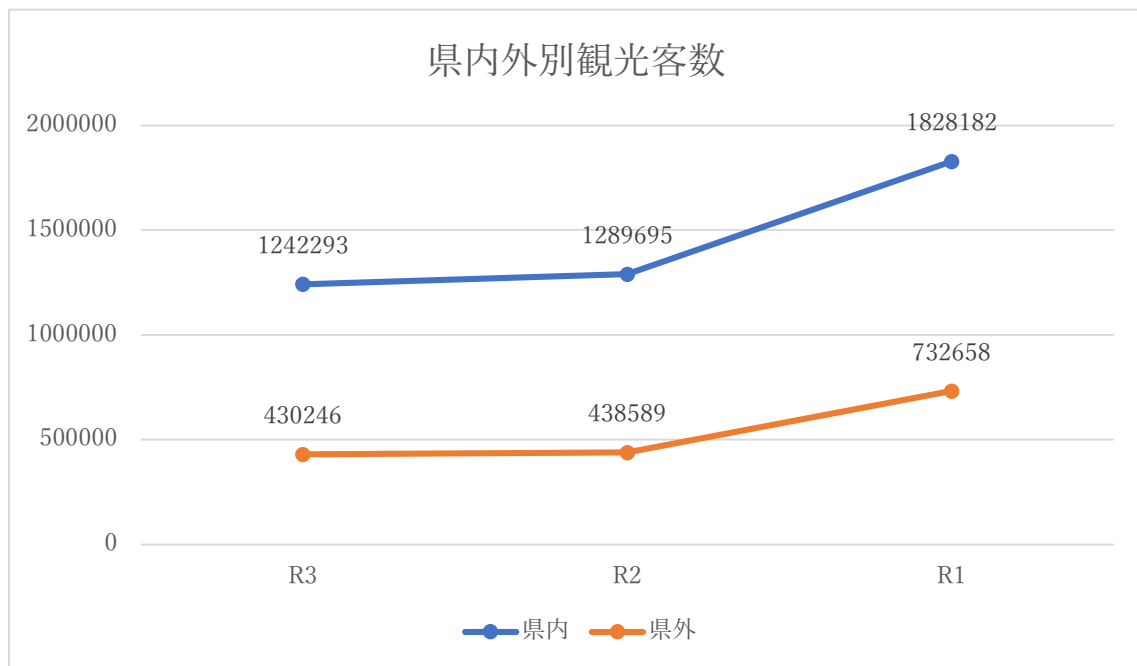
3. 発地別観光客数の状況

① 県内・県外別観光客数の状況

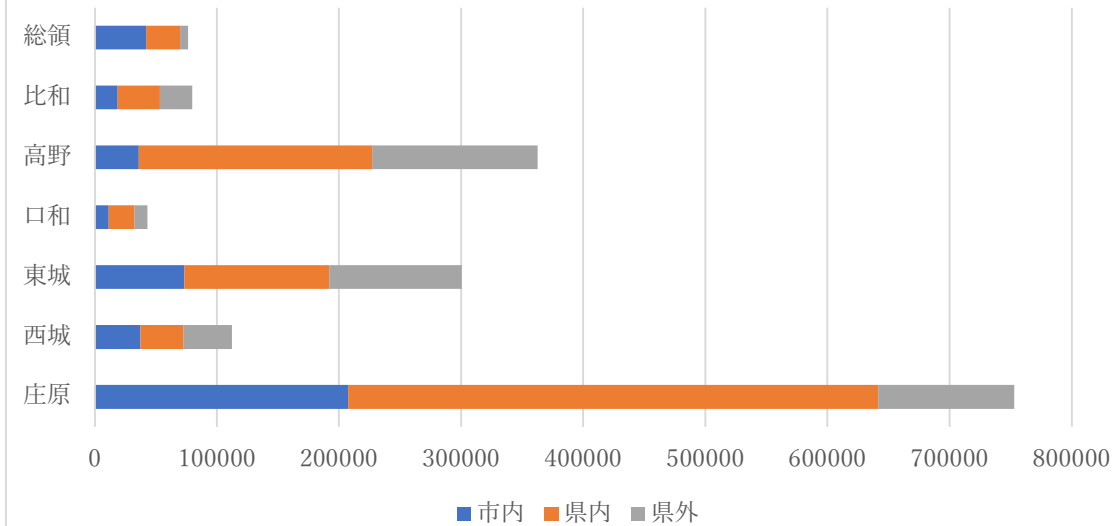
県内観光客（地元観光客を含む）数は、前年比 47,402 人減の 1,242,293 人、県外観光客数は、前年比 8,343 人減の 430,246 人だった。

なお、感染症拡大前の平成 31（令和元）年と比較すると、県内観光客数は、585,889 人減、県外観光客数は、302,412 人と大きく減少している。

区分	令和 3 年 観光客数 (構成比)	令和 2 年 観光客数 (構成比)	令和元年 観光客数 (構成比)	増減数 R3-R2	増減率 R3-R2	増減数 R3-R1	増減数 R3-R1
県内	1,242,293 (74.3%)	1,289,695 (74.6%)	1,828,182 (71.3%)	▲47,402	▲3.7%	▲585,889	▲32.0%
県外	430,246 (25.7%)	438,589 (25.4%)	732,658 (28.7%)	▲8,343	▲1.9%	▲302,412	▲41.3%



地域別にみた県内・県外の観光客数の状況（R3）



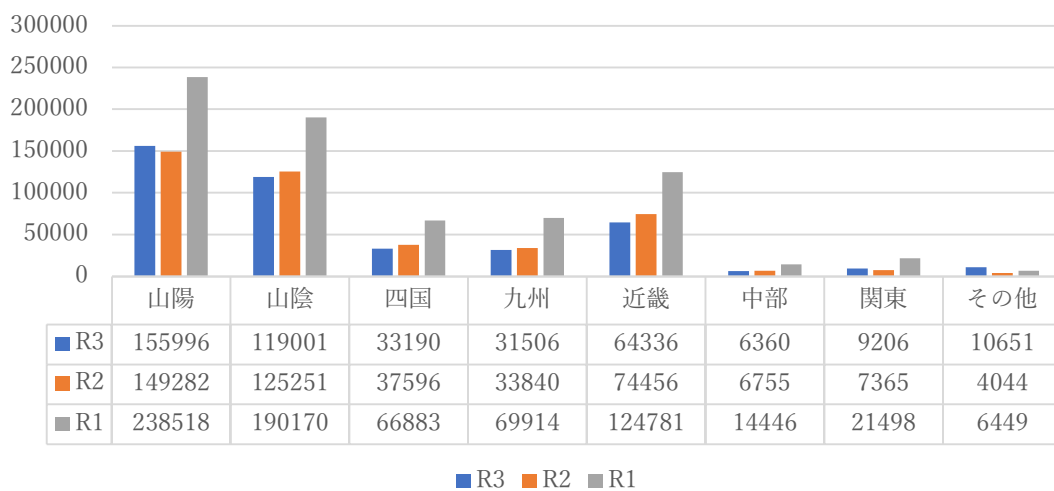
②発地エリア別観光客数の状況

県外の発地エリア別観光客の状況については、「山陽地方」と「山陰地方」がそれぞれ155,996人と119,001人で、この2地区の合計で6割以上を占めている。以下、「近畿地方」「四国地方」「九州地方」の順だった。

発地エリア別観光客数の割合

区分	山陽	山陰	四国	九州	近畿	中部	関東	その他
令和3年	36.3%	27.7%	7.7%	7.3%	15.0%	1.5%	2.1%	2.5%
令和2年	34.0%	28.6%	8.6%	7.7%	17.0%	1.5%	1.7%	0.9%
令和元年	32.6%	26.0%	9.1%	9.5%	17.0%	2.0%	2.9%	0.9%

発地エリア別観光客数の状況



③地域別にみた発地エリア別観光客数の状況

県外の発地エリア別観光客数を地域別にみると、どの地域も山陽地方からの割合が大きい。一方、東城地域においては、他地域と比べ山陰地方からの観光客の割合が低いが、近畿地方から観光客の割合が高い。

区分	山陽	山陰	四国	九州	近畿	中部	関東	その他
市全体	36.3%	27.7%	7.7%	7.3%	15.0%	1.5%	2.1%	2.5%
庄原	45.7%	22.4%	6.5%	3.8%	8.1%	1.2%	3.9%	8.4%
西城	62.8%	19.2%	8.9%	3.7%	4.5%	0.3%	0.4%	0.1%
東城	24.3%	9.6%	4.6%	9.3%	46.7%	2.5%	2.5%	0.4%
口和	67.3%	16.1%	0.2%	15.7%	0.4%	0%	0%	0%
高野	19.9%	50.7%	10.1%	11.2%	3.3%	1.9%	1.8%	1.0%
比和	35.5%	36.1%	6.5%	5.6%	14.6%	0.6%	0.8%	0.1%
総領	40.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0%	0%	0%

4. 目的別観光客数の状況

目的別にみると、「ショッピング・レストラン等」の割合が最も大きくなった。次いで「大規模公園・レクリエーション施設等」の割合が大きくなった。

・ 目的別観光客数の割合 上位5項目

区分	ショッピング・レストラン等	大規模公園・レクリエーション施設等	自然探勝	ハイキング登山キャンプ	温泉
令和3年	28.3%	25.1%	12.7%	15.1%	8.4%
令和2年	26.57%	26.59%	18.4%	10.4%	10.0%
令和元年	28.5%	19.7%	15.6%	9.2%	9.0%

・ 地域別・目的別観光客数の割合 上位5項目

区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
庄原	%	6.2%	4.8%	%	%	%	9.9%	%	59.3%	2.1%
		(3)	(4)				(2)		(1)	(5)
西城	%	%	4.2%	76.6%	7.4%	3.9%	3.7%	%	%	%
			(3)	(1)	(2)	(4)	(5)			
東城	%	26.2%	54.9%	0.2%	%	%	16.1%	%	%	0.3%
		(2)	(1)	(5)			(3)			(4)

口 和	12.7% (2)	83.7% (1)	%	3.6% (3)	%	%	%	%	%	%
高 野	%	88.0% (1)	0.3%	4.3% (3)	%	4.3% (2)	%	2.0% (5)	0.9% (4)	0.2%
比 和	5.4% (4)	3.9%	34.0% (2)	46.8% (1)	%	0.1%	9.0% (3)	%	%	0.7% (5)
総 領	%	86.5% (1)	%	%	%	13.5% (2)	%	%	%	%

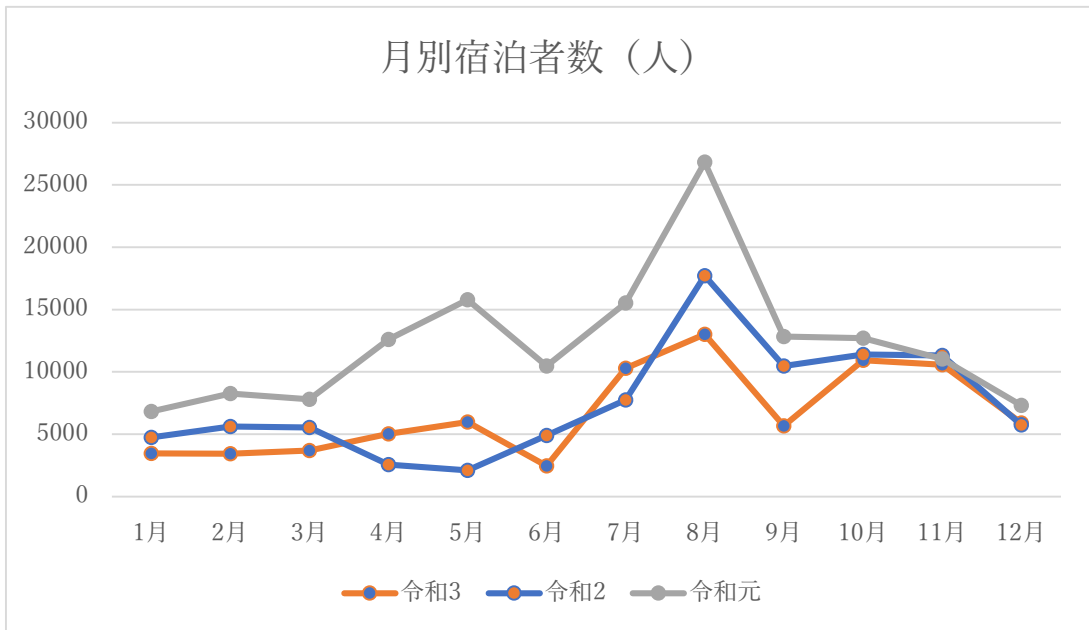
- ①博物館・美術館等 ②ショッピング・レストラン等 ③自然探勝
 ④ハイキング・登山キャンプ ⑤スキー ⑥その他スポーツ ⑦温泉
 ⑧果物狩り・収穫体験 ⑨大規模公園・レクリエーション施設等 ⑩その他

5. 月別宿泊客数の状況

令和3年の宿泊客数は80,384人泊で、前年と比べて9,443人泊（▲10.5%）減少した。新規感染者数の落ち着き及び県や市による宿泊助成等の観光キャンペーンの効果などにより、一時は回復傾向となった期間もあったが、年間を通じて外出自粛の動きが見られたことが大きく影響し、低調となっている。

なお、感染症拡大前の平成31（令和元）年と比較すると67,537人泊減（▲45.7%）となっており、引き続き厳しい状況である。

宿泊客数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
R3	3,451	3,426	3,679	5,027	5,961	2,457	
R2	4,728	5,610	5,533	2,557	2,098	4,901	
R1	6,819	8,249	7,805	12,608	15,773	10,470	
前年比	72.9%	61.1%	66.5%	196.6%	284.1%	50.1%	
元年比	50.6%	41.5%	47.1%	39.8%	37.8%	23.4%	
宿泊客数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R3	10,292	13,022	5,671	10,925	10,577	5,896	80,384
R2	7,738	17,725	10,479	11,401	11,323	5,734	89,827
R1	15,534	26,825	12,819	12,690	11,024	7,305	147,921
前年比	133.0%	73.5%	54.1%	95.8%	93.4%	102.8%	89.5%
元年比	66.3%	48.5%	44.2%	86.1%	95.9%	80.7%	54.3%

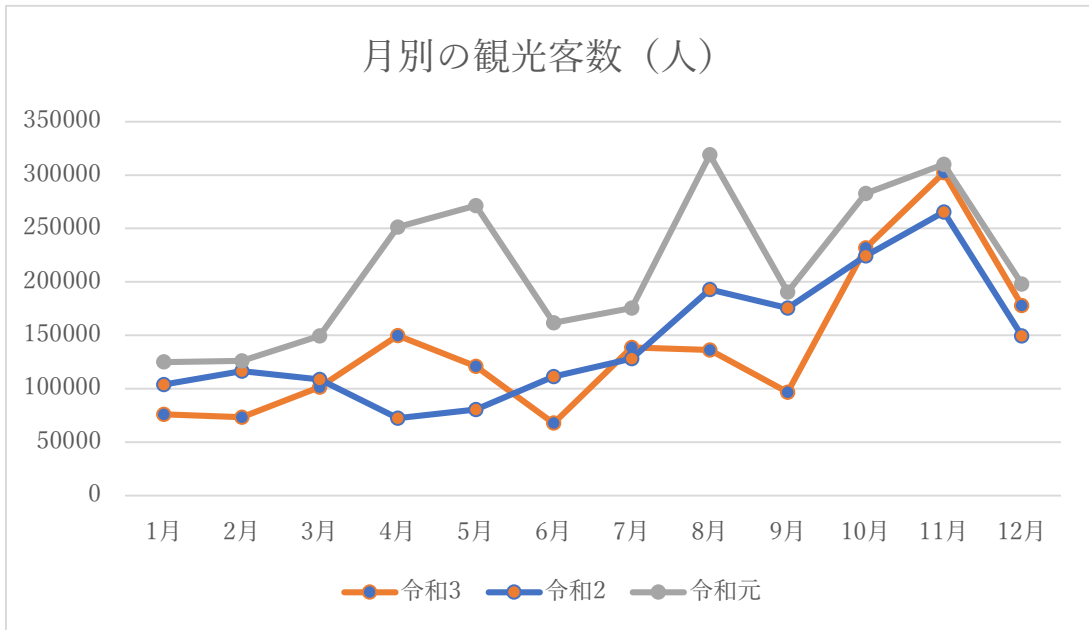


6. 月別観光客数の状況

令和3年の月別観光客数は、1～2月においては、Gotoトラベルが停止したことにより前年より大幅減少した。5月以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発令や、まん延防止等重点措置などにより減少傾向であったが、10月以降は、紅葉シーズンにおける登山客の増加や、備北丘陵公園のイルミネーションによる入園者数が増加したことなどにより、令和2年の観光客数を上回る結果となった。

(人)

観光客数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
R 3	75,966	73,283	101,344	149,580	120,828	67,802	
R 2	103,699	116,422	108,495	72,483	80,383	111,433	
R 1	125,095	126,017	149,486	251,278	271,434	161,636	
前年比	73.3%	62.9%	93.4%	206.4%	150.3%	60.8%	
R1年比	60.7%	58.2%	67.8%	59.5%	44.5%	41.9%	
観光客数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R 3	138,634	136,299	96,689	231,876	302,316	177,922	1,672,539
R 2	128,208	192,717	175,424	224,243	265,400	149,377	1,728,284
R 1	175,586	318,974	190,331	282,813	310,109	198,081	2,560,840
前年比	108.1%	70.7%	55.1%	103.4%	113.9%	119.1%	96.8%
R1年比	79.0%	42.7%	50.8%	82.0%	97.5%	89.8%	65.3%



7. 観光消費額の推移

令和3年に、観光客が本市において宿泊料、みやげ品代、飲食代入場料などに消費した観光消費額の総額は20.0億円で、総観光客数及び宿泊客数が大幅に減少したことに伴い、対前年比の89.2%となり、2.4億円減少した。

（千円）

	R3	R2	前年比
宿泊費	466,151	543,302	85.8%
飲食費	621,163	691,900	89.8%
土産代	599,429	657,330	91.2%
入場・体験料等	319,124	356,388	89.5%
計	2,005,867	2,248,920	89.2%

（※）各数値は、広島県観光客数の動向資料等を参考に作成。